

**第 6 回**

開催日時	平成24年11月14日(水) 18:30~19:00	
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室	
出席者	委員	小林一裕, 石川祐一, 望月昇, 佐藤和彦, 廣戸隆, 中村忍, 和家貴之, 山西正樹, 江幡光陽, 寺山勝衛, 高倉進, 萩谷元男, 坂本孝一, 郡司邦子, 上田明美, 佐藤方彦, 山口美知子, 美野田龍敬, 海老澤忠 (敬称略, 順不同)
	傍聴者	0名
	その他	鈴木教育長, 村田教育次長
	事務局	学校教育課再編担当
会議次第	<p><b>【議事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告書(第1次報告)について</li> </ul> <p><b>【茨城町立中学校統合準備委員会協議結果の報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育長へ報告</li> </ul>	

**第6回 茨城町立中学校統合準備委員会 会 議 要 旨**

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ

茨城県内では、今後約80の小中学校が廃校になる見通しである。少子化、財政難、校舎の老朽化等が背景にあるようである。

教育基本法には、教育とは真理を尊重し、人格の完成を目標として行われるべきであるとうたわれている。未来を担う子どもたちが思いやりの心を持ち、心豊かに育っていくためには、学校、家庭、そして地域で暮らす人たちのふれあいが大切だと思う。

茨城町では、小中学校の適正規模・適正配置に向けて学校再編計画を策定後、統合準備委員会を発足して5回の委員会を開催し、本日、統合中学校の校名を報告するに至ったわけである。

人が元気に輝く「青葉中学校」になることを願い、委員長あいさつとする。

### 3 議事

#### 議事（１）報告書（第１次報告）について

委員長

議事（１）報告書（第１次報告）について、事務局からの説明を求めます。

事務局

「茨城町立中学校統合準備委員会協議結果の報告について（第１次報告）」について説明する。  
まず、報告書（案）の次の２箇所を訂正したい。

#### 【１箇所目】

別紙 ８行目 （訂正前）校名の決定方法はいくつか考えられますが、  
（訂正後）校名の決定方法はいくつか考えられるが、

#### 【２箇所目】

別紙 ２４～２５行目 （訂正前）両校いずれかの文字を使用した場合は、  
（訂正後）両校のいずれかの文字を使用した場合は、

事務局

次に、「２．委員会での協議（３）校名案の選考」についての記述であるが、これは以下の選考経過を文章にして説明したものである。

- ①応募された２３８候補の中から、委員１人５点以内で投票。
- ②①の投票により絞り込まれた４６候補のうち、「両校の文字を使用しない校名」の中から選定することを決定。「両校の文字を使用しない校名」である３４候補の中から、委員１人３点以内で投票。
- ③②の投票により１票以上得票した２２点の中から、委員１人１点ずつ投票。
- ④③の投票により上位３位（３位同票数）までの４点の中から、委員１人１点ずつ投票。
- ⑤最多得票の「青葉」に決定。

次に、「３．選考理由」について説明する。

「青葉」の応募者は、「梅も桜も花の後は、青々しい葉が茂るから」という理由・想いで、校名を応募してきた。そして、その理由・想いに、委員の皆様の意見を加味し、事務局で作成したものが以下の選考理由（案）である。

#### 【３．選考理由】

梅も桜も花を咲かせた後は、みずみずしい青葉が茂る。

本町の水と緑豊かな自然環境に恵まれた学び舎で、生徒たちが青葉のような若々しい力強さを持って、心豊かにたくましく育ってほしいとの思いと、統合によって長い歴史の幕を閉じることになる桜丘中学校と梅香中学校が築き上げてきたすばらしい文化と伝統を新中学校に引き継ぎ、毎年若い青葉が芽吹くように、新たな歴史を刻んで行ってほしいとの期待が込められている。

そのような思いが込められた「青葉中学校」が、新生統合中学校にふさわしい校名であるということで選考した。

## 事務局

1行目の「梅も桜も」は「梅」が先であるが、読んだ時の語呂の良さと、花が咲く時期が「梅」の方が先であるという理由から「梅」を先にすることとした。

4行目の「桜丘中学校と梅香中学校」は行政順によるものである。学校設置条例における中学校の記載順が「桜丘中学校」、「梅香中学校」の順であるという理由から「桜丘中学校」を先にすることとした。

このようにして、事務局で報告書(案)を作成したが、皆様から意見等があればこの場で訂正し、その後、教育長へ報告したいと考えている。

## 委員長

議事(1)報告書(第1次報告)について、事務局からの説明が終わりました。

ただいまの事務局の説明を聞き、このような表現に改めるべきではないかという意見があれば伺いたい。

特にそのような意見がなければ、報告書(案)のとおり教育長へ報告したいと思う。

教育長には、口頭で次のように報告したいと考えているので、これから朗読する内容でよろしいか暫しお聞き願いたい。

### 【茨城町立中学校統合準備委員会調整結果の報告について(第1次報告)】

茨城町立中学校統合準備委員会設置要綱第2条の所掌事項のうち、統合中学校の名称について、慎重に協議した結果、校名案が決定しましたので報告いたします。

なお、統合中学校の名称が正式に決定されませんと、今後の校歌・校章等の協議に進めませんので、町において速やかに審議され、決定することをお願いいたします。

#### 1. 統合中学校の名称

「茨城町立青葉中学校」

#### 2. 決定に至る経過

町から示された条件を基に、校名の決定方法や校名案の選考について協議をいたしました。校名の決定方法については、他市町村の事例を参考とし、児童・生徒及び保護者、地域住民の方々から広く意見を聴いて決定しようという考えに基づき、公募により決定していくこととしました。

募集は、平成24年7月20日から9月7日まで行い、430名の方から238点の応募をいただきました。

この238点のうち、両校に対する思い入れはそれぞれあるだろうが、これからの子供たちのことを考え、両校の文字を使用しない校名から選考することとしました。

両校の文字を使用しない校名案から、全委員による投票を数回実施し、最終的に過半数を獲得した「青葉」に決定しました。

選考理由は、青葉と生徒、青葉と新生統合中学校を重ね合わせ、青葉のような若々しい力強さを持って、心豊かにたくましく育てほしいとの思いと、両校の文化と伝統を引き継ぎ、青葉が芽吹くように、新たな歴史を刻んで行ってほしいとの期待が込められている「青葉中学校」が、新生統合中学校にふさわしい校名であるということで選考しました。

以上、報告いたします

平成24年11月14日 茨城町教育委員会 教育長 鈴木 由美 様  
茨城町立中学校統合準備委員会 委員長 佐藤 方彦

委員長

以上のような内容で教育長へ報告したいと思うが、異議はありませんか。

ー異議なしー

委員長

それでは、教育長へ報告する。

#### 4 教育長へ報告

佐藤 方彦 委員長から鈴木 由美 教育長へ「茨城町立中学校統合準備委員会調整結果の報告について（第1次報告）」を報告。

#### 5 教育長あいさつ

長期間にわたり、慎重に審議された結果をただいま報告してもらった。

「青葉中学校」、非常に良い響きである。「青葉」という言葉について、皆様もそれぞれの思いがあるだろうが、私は、命の息吹、根源、毎年芽が出て茂りゆく繁栄、しなやかさ、若々しさ、力強さなど、多くのイメージを持つ言葉だと思う。

皆様の多くの思いが込められた校名であり、この報告を受け、町としても正式決定の手続きを進めていきたいと考えている。長期間にわたり審議をしていただき、ありがとうございました。

校名が決定し、今後は校歌、制服等を決定していかなければならないが、統合準備委員会での協議を引き続きお願いしたい。

#### 6 その他（次回開催等について）

事務局

次回の委員会は、12月上旬を予定している。

校名が決定したので、次回からスクールバスの導入問題を検討していきたい。